



生き埋め直後、シャベルカーによる救出作業により死亡した事例

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 日本法医学会 公開日: 2013-08-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 渡部, 加奈子, 鈴木, 加奈子, 野澤, 秀樹, 鈴木, 修 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/1856

P-112 生き埋め直後、シャベルカーによる 救出作業により死亡した事例

鈴木(渡部)加奈子, 野澤秀樹, 鈴木 修
(浜松医大法医学)

工事現場にて作業中、土砂に埋もれた直後、同僚によってシャベルカーによって救出中、顔面・頭蓋に損傷を受け死亡した事例を経験したので報告する。

[事例] 41歳、女性。静岡県富士郡、無線中継敷地造成工事現場にて作業中、土砂に埋もれた。共に作業をしていた同僚が急いで本屍を救出しようとしてシャベルカーにて本屍の埋もれた辺りを掘り起こしたところ、既に死亡していたものである。本屍の死因を調べるため、死後約24時間後に当教室にて司法解剖を行った。

[解剖所見]

(外表) 本屍には左顔面と左腋窩部の2箇所には大きな挫裂創を認める。左顔面では、前額部右側から頸部左側にかけて斜めに顔面が大きく挫裂し、顔面骨、内部軟部組織を露出する。露出部には泥の付着を認める。左総頸動脈は切断される。左腋窩部は大きく挫裂し、内部の筋、腱、血管を露出する。眼瞼結膜には、溢血点もしくは溢血斑を多数認め、鼻腔内、口腔内には泥を少量容れる。左前腕、手首は複雑に骨折する。

(内景) 上記顔面・頭蓋の挫裂部に対応して顔面骨・右前頭部頭蓋骨は骨折し、その周囲右側頭皮下にて広範囲に出血を認める。頭蓋底にて、右側広範囲、左後頭蓋窩に複雑な骨折を認める。大脳脳底部から小脳、延髄にかけ、脳組織は挫滅し、泥が付着する。左腋窩部挫裂創内部にて軟部組織に出血を認める。左第3から第10肋骨に多数の骨折を認め、その部位にて肋間筋に出血を認める。右肺には数個の出血斑、左肺には1個の挫裂創を認める。心臓表面、咽頭、喉頭粘膜には溢血点を多数認める。心臓内には血液少量しか容れず、諸臓器の血量はいずれも乏しい。

[結論]

本屍には顔面の高度挫裂、左総頸動脈切断、頭蓋底骨折、脳挫滅、左肋骨多数骨折等のパワーシャベルにより生じたと思われる著明な損傷を認めた。右側頭皮下、左腋窩部挫裂部、肋骨骨折部の出血から、生活反応を認めた。本屍の死因として、土砂に埋もれた事による窒息を考慮すべきではあるが、本屍には生活反応が認められ、本屍が生き埋めになってから救出されるまで約10分の時間であった事も考慮すると、本屍がパワーシャベルにより受傷した頃、心臓はまだ拍動していたものと思われた。以上より、本屍の死因は、パワーシャベルによる多発性損傷と判定した。